

令和8年 業種別労働災害発生状況

(令和8年1月末現在)

苫小牧労働基準監督署

区分 業種別	令和8年			令和7年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
全産業合計		(1) 32	(1) 32		(4) 29	(4) 29	3	10.3	100.0
製造業		6	6		5	5	1	20.0	18.8
食料品									
木材木製品		1	1		1	1			3.1
紙・パルプ					1	1	-1		
窯業・土石		1	1		1	1			3.1
金属・機械		1	1				1		3.1
輸送用機械		1	1		1	1			3.1
その他		2	2		1	1	1	100.0	6.3
鉱業									
土石採取業									
建設業					2	2	-2		
土木工事業									
建築工事業					1	1	-1		
木造建築業									
その他の工事業					1	1	-1		
道路貨物運送業		(1) 6	(1) 6		(1) 7	(1) 7	-1	-14.3	18.8
その他の運輸業		2	2		1	1	1	100.0	6.3
陸上貨物取扱業									
港湾荷役業		1	1				1		3.1
林業									
漁業									
卸売・小売業		3	3		(1) 2	(1) 2	1	50.0	9.4
清掃業		2	2				2		6.3
ゴルフ場		1	1				1		3.1
その他の事業		11	11		(2) 12	(2) 12	-1	-8.3	34.4

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したもの。

()内は交通事故で内数です。

業種別労働災害発生状況（その2）

「その他の事業」の内訳

（令和8年1月末現在）

区分 業種別	令和8年			令和7年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
農業業		1	1		1	1			3.1
畜産業					1	1	-1		
理美容業									
その他の商業									
金融・廣告業		1	1				1		3.1
映画・演劇業									
通信業		3	3	(2)	2	(2)	2	1	50.0
教育・研究業									
保健・衛生業		6	6		7	7	-1	-14.3	18.8
飲食店					1	1	-1		
その他接客娯楽業 (ゴルフ場を除く)									
上記以外の事業									
合計		11	11	(2)	12	(2)	12	-1	-8.3
									34.4

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したもの。

()内は交通事故で内数です。

令和8年 死亡災害発生状況

(令和8年1月末現在)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生月	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要					
							死亡災害の発生はありません					

過去10年間の死亡災害発生状況

発生年	28	29	30	令元	2	3	4	5	6	7	合計
死亡件数	5 (2)	9	4	3	2 (2)	5	5 (1)	4 (1)	1 (1)	5 (1)	43 (8)

死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数



1 冬季ゼロ災運動について

北海道労働局では、令和7年12月1日から令和8年3月31日までを取組期間として「北海道冬季ゼロ災運動」を展開します。

運動期間中に取り組むべき各種対策を確認していただき、特に転倒、交通事故除雪作業（雪下ろし・重機災害）、一酸化炭素中毒の防止に取り組みましょう。



2 駐車場での転倒災害が多発しています

今年の冬は積雪が多く、特に凍結した駐車場での転倒災害が急増しています。

駐車場は、車の出入りで雪が踏み固められやすい、エンジンの熱で溶けた雪が再凍結する、見た目では凍っていることに気づきにくいという特徴があります。

小まめな除雪、融雪剤や焼砂を撒く等の対策をお願いします。



3 化学物質管理強調月間について

厚生労働省では、広く職場における危険・有害な化学物質の管理の重要性に関する意識の高揚を図るとともに、化学物質管理活動の定着を図るため、「化学物質管理強調月間」（実施期間：令和8年2月1日から2月28日）を主唱し、本年度は「慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方」をスローガンに活動を展開します。



各詳細については、右のQRコードからリンク先の資料等をご確認ください。